

樋門モニタリングシステム

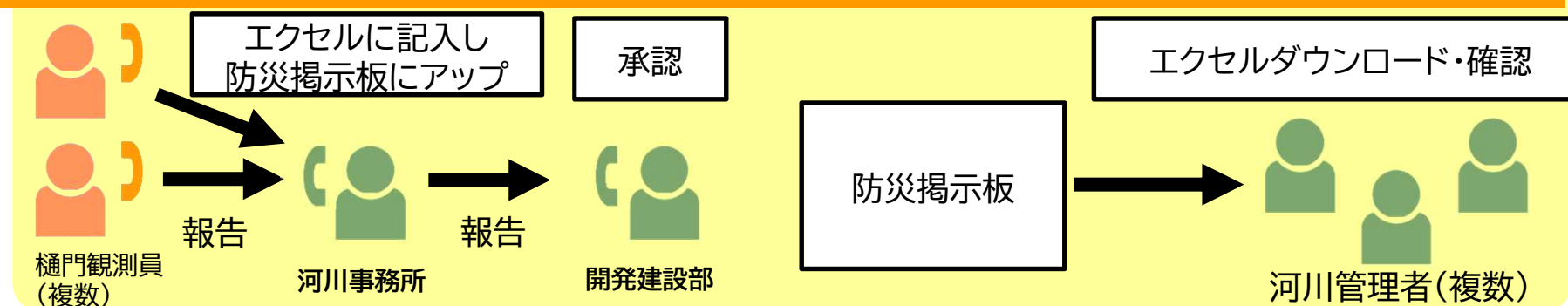

 「世界の北海道」を目指して
 —北海道総合開発計画—

■ システム概要

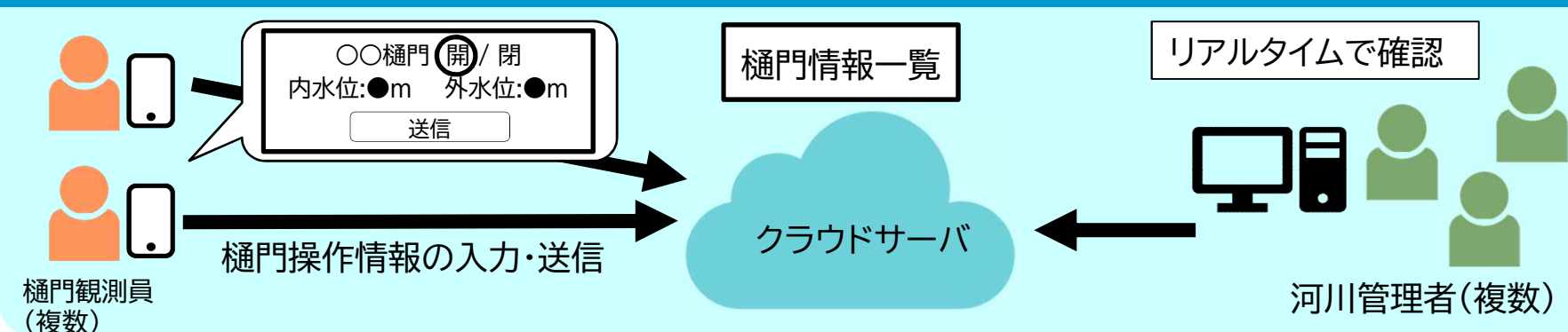
樋門の開閉状況や内外水位の把握は河川事務所が樋門観測員との電話連絡で行っているが、共上りを伴うような出水時には連絡の輻輳が課題となっている。また各樋門の情報は河川事務所でエクセルファイルにまとめ、防災掲示板へアップロードする事で情報共有しているが、作業の煩雑さやタイムラグの改善が望まれている。

本システムは樋門観測員がスマートフォンで情報を入力・送信し、河川管理者がウェブ上で各樋門の最新情報を確認可能にすることで、情報共有の省力化と迅速化を行うシステムである。

【現状】 多くの樋門の情報集約は職員の負担が大きく最新情報の反映に時間を要している



【システム構築後】情報共有の省力化・迅速化が可能となる



樋門モニタリングシステム

■ 開発・運用工程

令和4年1月よりシステムの構築を開始、令和4年4月より札幌河川事務所の一部の樋門で試行運用開始する。令和4年7月より直轄で管理している樋門で運用開始し、11月～12月までに各開発建設部からシステム改良の意見を収集し、改良を行う。令和5年2月から各関係市町村へURL送信、説明を行い、4月より市町村へ閲覧機能のみ公開を予定している。

	令和4年				令和5年	
	1月～	4月～	7月～	11月～12月	2月	4月
運用		札幌河川事務所の一部の樋門で試行開始	直轄で管理している樋門で運用開始	システム改良の意見収集・とりまとめ	関係市町村へURLの送信・説明	市町村へ閲覧機能公開(予定)
システム	構築開始	追加・改良	運用	改良	運用	
	樋門操作人用機能 ・実操作の連絡 ・水位の連絡 管理者用機能 ・連絡内容の編集	樋門操作人用機能 ・体制入り ・体制解除 ・操作前点検 管理者用機能 ・連絡内容の編集				